

平成28年度(27年度実績) 総合評価書 <施設名 笠原児童館・地域子育て支援拠点親子ひろば>

1 指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ(東京都豊島区池袋3丁目1番2号)
2 指定期間	平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表									
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)		平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満~95%:8点、 95%未満~85%:6点、 85%未満:4~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00~18:00)自由来館となっている。		-	
	(2)利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(上記(3)適用) ※今回は指定管理1年目の評価のため、本来は上記(1)を適用するが、25年度に利用者人数のカウント方法を見直したため、算出に1~5年目(22~26年度)の平均利用人数を使うことは実態とそぐわない。 従って26年度の利用人数で27年度の利用人数を割ることで平均値比を求める。 $94\% = \text{利用人数(H27来館者数延べ 13,386人)} \div (\text{H25,26年度来館者数平均値 14,304人})$ 【笠原児童館】 $91\% = \text{利用人数(H27来館者数延べ 9,333人)} \div (\text{H25,26年度来館者数平均値 10,297人})$ 【親子ひろば】 $101\% = \text{利用人数(H27来館者数延べ 4,053人)} \div (\text{H25,26年度来館者数平均値 4,007人})$	95%未満 ~ 85% 6点	【笠原児童館】 地域まつりへの参加や近隣施設への訪問等、積極的に行うことで児童館の認知度はあがっている。また、調理室事業を多角化することで、子どもだけでなく乳幼児親子など母親の来館も増えている。しかし、校区が広いため小中学生の多くは車の送迎がないと来館が難しい。特に、高学年はドッチボールなど身体を動かす遊びを好むが施設の構造上難しく、来館者数が伸び悩んでいる。 【親子ひろば】 交流事業を積極的に行った事で継続的利用者の増加につながった。継続的な来館は、仲間意識が広がって第二子の出産後の利用や参加困難な父親事業に繋がっている。 【27年度】 <笠原児童館> 来館者数 9,333人 乳幼児:3,585人 小学生:2,089人 中高生:189人 大人:3,470人 <親子ひろば> 来館者数 4,053人 乳幼児:1,955人 大人:2,098人 【26年度】 <笠原児童館> 来館者数 9,819人 乳幼児:3,755人 小学生:1,619人 中高生:298人 大人:4,147人 <親子ひろば> 来館者数 4,367人 乳幼児:2,171人 大人:2,196人 【25年度】 <笠原児童館> 来館者数 10,775人 乳幼児:3,874人 小学生:2,155人 中高生:377人 大人:4,369人 <親子ひろば> 来館者数 3,646人 乳幼児:1,944人 大人:1,702人		6点	

4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	<児童館>12点 ・乳幼児対象事業(計107回開催、延べ2331名参加) ・小学生対象事業(計108回開催、延べ714名参加) ・多世代間交流事業(計20回開催、延べ1114名参加) ・一般対象対象事業(計52回開催、延べ440名参加) ・子どもボランティア事業(計19回開催、延べ49名参加) ・中高生対象事業(計29回開催、延べ47名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計13回開催、延べ43名参加) ・調理体験・調理講座の実施(計23回開催、延べ429名参加) <親子ひろば>12点 ・親子の交流の場の提供と促進(計157回開催、延べ2278名参加) ・子育て等の相談・援助の実施(計113回開催、延べ726名参加) ・地域子育て関連の情報の提供(計37回開催、延べ117464名参加) ・子育て・子育て支援に関する講習等(計34回開催、延べ465名参加) 平均12点 ※別紙:事業報告書 参照	仕様書以上12点 ・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・地域と連携を図り、事業を行っている。 <笠原児童館> ・親子ひろばが併設されている利点を生かし、共催行事や職員間での連携を深め、乳幼児親子対象の事業など子育て支援に特に力を入れたことで、乳幼児クラブの参加者が増加した。 ・近隣施設へ積極的に出向き、多世代交流の場を持ち、子ども達が地域と交流する機会を増やした。 <親子ひろば> ・子育て関連情報の提供を積極的に行った。ひろば独自のかさはら散歩やバザーは、特に利用者のニーズが高く好評である。利用者の気持ちに寄り添い、ニーズを吸い上げてきた事で交流が進んだ。	12点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	<児童館>12点 ・地域の特性を活かした事業(計14回開催、延べ369名参加) <親子ひろば>10点 自主的な事業(計54回開催、延べ1551名参加) 平均11点 ※別紙:事業報告書 参照	期待以上13点 ・地域の特性を活かした事業を適正に実施した。 <笠原児童館> ・広報を強化し、児童館敷地内の畑を利用した事業や積極的に外へ出かける事業を行った。 <親子ひろば> ・地域の方々と関わる事業を積極的に行い、近隣への認知度を高めた。 ・父親・祖父母を対象とした事業(特に笠原児童館との共催)を行い、父親同士の交流や、地域と子どもの交流につながった。	13点	
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:週1～2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2～3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃している。	適正(普通)2点	仕様書に定める回数が適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			運動遊具の保守点検及び自動ドアは委託により実施。パソコンは随時点検。	適正(普通)2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通)2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			①2階調理室の網戸の張替え(7,557円) ②一輪車タイヤ修理(1,749円) ③1階乳幼児室天井の点検口取替え(21,600円) 10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通)2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			・毎月「安全点検日」を設け、定期点検により危険箇所の有無について確認。	適正(普通)2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)		15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正 (普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。		11点	
		②環境への配慮				・「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定、プール遊びで残った水を打ち水にし、暑さ対策にする、夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用 関係者機関への連絡はメールを利用。 ・「段ボールコンポストの利用」 段ボールコンポストを利用し、野菜を育てている。	期待 以上 3点	・適正に実施されている。 ・段ボールコンポストを利用し、野菜を育て、収穫し、調理し、そのゴミで野菜を育てるという「食の循環」を事業で実施している点は評価できる。			
		③バリアフリー				玄関に車椅子用のスロープを設置しており、トイレは洋式である。廊下など通行する部分に障害物を置かないよう配慮している。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		④備品管理				備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正 (普通) 2点	適正に管理されている。			
		⑤個人情報保護				特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		⑥事故等への対応		事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり: △1点	親子ひろばにて、9月に1件。2歳児が母親と食事中、椅子から転倒し、背後の滑り台に顔をぶつけた。	事故 なし・ 対応 に不 備なし 0点	・滑り台を机から離れた場所に移動。 ・掲示等により利用者に注意喚起を行い、子どもの見守り等保護者に向けての注意喚起を徹底する。		0点		
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支		5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、105%未満 ～100%:4点、100%未満:3 点	収入14,044,099÷支出13,603,806≒103% 【笠原児童館】 収入 11,006,517÷支出 10,139,983≒109% 【親子ひろば】 収入 3,037,582÷支出 3,463,823≒88%	105% 未満 ～ 100% 4点	児童館・親子ひろばともに、26年度まであった職員他館との兼務を解き、決算時に館ごとの勤務実績に合わせた人件費配分を行った結果、27年度は前年までに比して大きく人件費及び兼務に伴う旅費交通費を減少させることができた。指定管理料の増額もあり、経営状況は好転している。 預かり金としての性格が濃いために26年度までは決算時に計上してこなかった各クラブに係る参加料などの収入、材料費などの支出を計上することとしたため、雑収入と消耗品費が増している。 また、経費を事業計画書に従い決算でも児童館72%・親子ひろば28%で機械的に配分したため、親子ひろばの経費が見かけ上増している。		4点	

4. 採点表									
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
4 より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10 期待以上:10~8点、 適正(普通):7~5点、 不備あり:4~1点	<児童館> ・窓口に意見箱を設置するとともに、前期・後期のクラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを行ったり、感想・意見を聞く場を設けた。 <親子ひろば> ・少子化のためか公園へ出かけてもなかなか子どもがいないという利用者の声に応え、「笠原さんぽ」を積極的に実施。同世代の親子が交流できる場として参加者が定着し、好評である。 ・バズホリディを日曜日に開催してほしいとの声に応え、開所日とは別に開催した。	期待以上 9点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・親子ひろば利用者の要望に応えるため、本来休所日である日曜日に事業を行った企業努力は評価できる。		9点	
		②苦情対応	5 期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。	苦情なし・ 適正 (普通) 4点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。		4点	
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない:8~0点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の有資格臨時登録者を完備し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠動に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、毎年「子ども・若者フォーラム」を開催し、子育て・子育て・子育ての大規模な研究交流会を行っている。(27年度…H28.2.27~28の「ワーカーズコープよい仕事集会」分科会として開催) ・下記の研修会に参加し、伝達研修を行った。 健全育成専門研修会・児童厚生員等基礎研修会・全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー(主催:児童健全育成推進財団) 児童館職員等研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会) 岐阜県木育研修(主催:岐阜県恵みの森づくり推進課) 地域子育て支援拠点研修・地域子育て支援士二種養成研修・子育て支援センタースタッフ研修会研修(主催:NPO法人子育てひろば全国連絡協議会) 普通救命救急講習・防火管理者講習(多治見市消防本部)	期待以上 14点	・地域行事へ職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努める姿が見られた。		14点	

4. 採点表								
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり・減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				83点
							全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・参加者の満足度、地域との連携など概ね良好である。 ・親子ひろばは、地域と連携した事業を積極的に行い、地域の子育て支援拠点として多くの親子の憩いの場として機能している。	良好